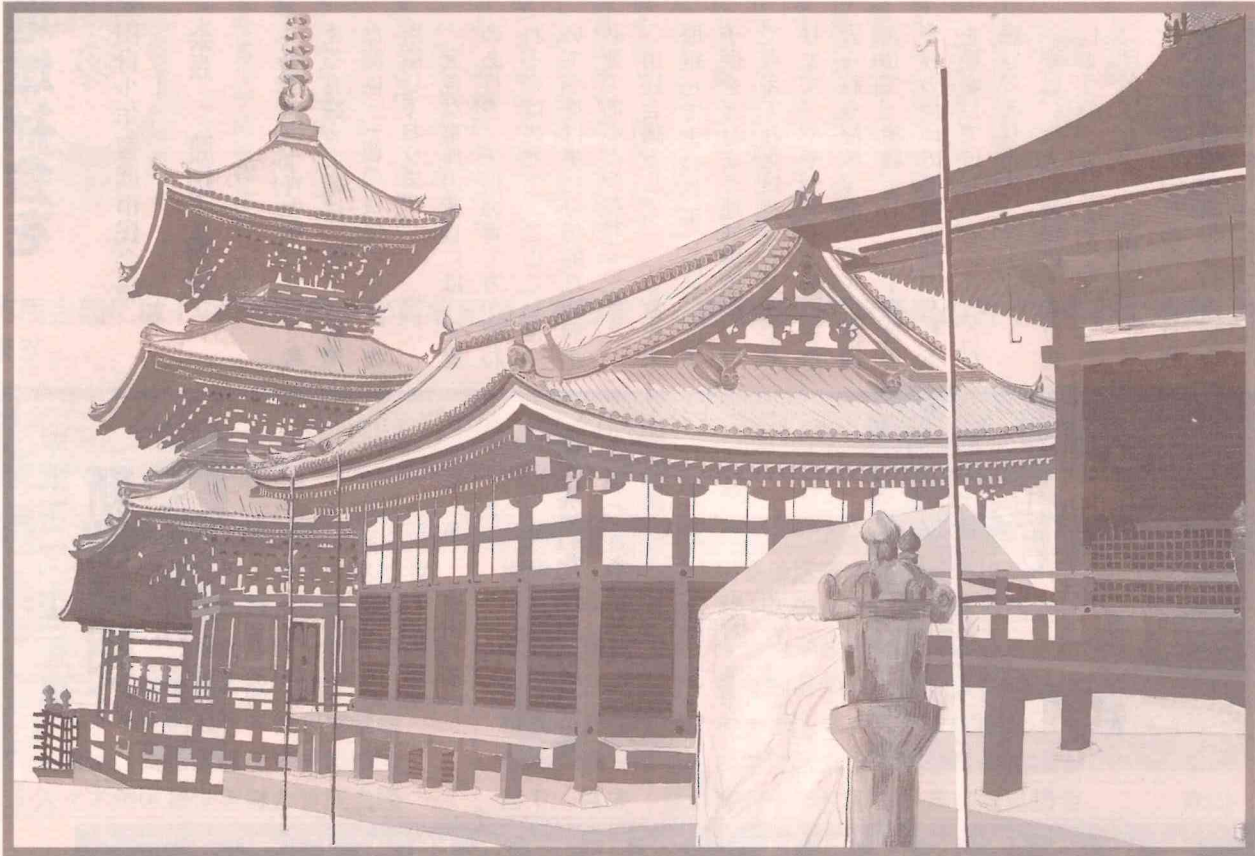


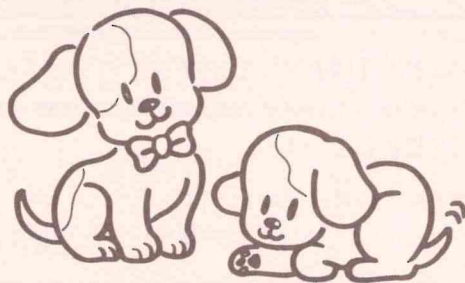
新発田青少年育成市民会議だより

はばたき

21世紀に向かって市民みんなで手をたずさえて



佐々木中学校三年 齋藤 麗華



犬はともだち

米倉小学校 2年
外山 葉

犬はともだちだよ。
かなしいことがあれば、
顔をなめてなくさめて
くれる。
おこっているときも、
顔をなめて、気もちを
らくにしてくれる。
うれしいことがあれば、
いっしょによるこんで
くれる。
ねがいがかんたときは、
いっしょにジャンプを
して、
立ってくれる。
犬は、自分がうれしい
とき、
ワンワンとほえて歌う。
わたしも、いっしょに
歌う。
どっちも同じ。
ともだち、ともだち、
犬はともだち。

発行 新発田青少年育成市民会議
事務局 新発田市青少年健全育成センター
住所 新発田市緑町2丁目6番36号
電話 (0254) 2610897

子どものための地域社会を



新発田青少年育成市民会議

会長 渡辺 秀晃

心の痛む事件が全国的な広がりをもつように見えます。現在の非行の状況は、罪悪感の欠如など青少年の気持の中に存在しているのかと、疑問を持たざるを得ない様相を呈しているように思われて残念でなりません。

一九八〇年代の非行は「初発型」と呼ばれ、万引き、喫煙など軽微な事件を繰り返しているうちに、重大事件を起こすというものでした。

これに対して、最近の傾向は「いきなり型」と呼ばれ軽微なことを飛び越して、重大事件を引き起こすというもので世の深刻な関心事となりました。

総理府では、非行問題の全国調査を実施していますが、それによりますと、青少年の回答で「自分の感情をうまくコントロールできない」が最も多く、自ら「キレる」ことが最大の原因としています。大人の見方は「忍耐力がなく我慢ができない」「親の甘やかし」等を挙げ「しつけ」の不足を嘆いております。

次代を担う青少年について考える有識者会議は「親子の稀薄な関係」「親の自信のなさ」を指摘しております。

大きな事件の背景には、家庭のあり方、子供の育て方が問われるのは当然で、このことについて今後は更に分析的な検討が必要であるといわれています。

市民会議として、ここ数年来取組んでまいりましたものは、子供をとりまく地域環境について考えてみたいということであります。ややもすると最近忘れ去られる領域であります。集団として、組織として、子供達の育成のための協同援助のあり方を模索してほしいということが願いであります。

要は、大人の姿勢にもありましようか。「自分さえよければ」「自分の子供が」の利己心から、少しでも他人のためにという利他心への転換が求められる世の中になってきているのではないかと思います。

平成十二・十三年度

新役員紹介

— よろしくお願ひします —

会長 渡辺 秀晃
副会長 小倉 和雄

山野辺輝子
森田 国昭
松川 康男
寺田 恭一
今村由記子

監事 寺田 恭一
今村由記子

退任された役員の皆さま
— おつかれさまでした —

副会長 寺尾 秀一
監事 野倉 孝作
中野 盛二



市民会議の会員は、全市民の皆さんです。

市民会議は、青少年の健全育成を図ることを目的としています。

目的を達成するために、市民会議では、青少年団体や地区育成組織の助成及び活動の奨励として、活動助成金の交付、また、活発に行われるよう研修会・講演会の場を提供しています。

市民会議の中心となって活動している『14地区青少年育成組織』では、クリーン作戦、花壇づくり等を実施し、「環境美化」に努めたり、「明るい家庭と地域づくり」のために、あいさつ運動を行ったりして、青少年の育成を図っています。

昨年度、猿橋小学校区青少年健全育成協議会では、「地区育成活動の活性化をめざして」をテーマに、

① 青少年の地域活動の援助

各地域子供会と少年団との交流会、また、親子三世代交流の集いを開催し、心の交流を図り、地域の活性化に取り組みました。

② パトロール強化と青少年の地域環境の浄化

商業地のパトロールにより、不良看板・不良自販機の排除運動などを行うとともに、

優秀標語の表彰などにより、青少年の地域環境をよくする活動を進めています。

各地域でも、いろいろな活動を推進しています。

皆さんも、地域の活動に積極的に参加してみませんか。

共に手を携えて、青少年の健全育成に努めましょう。



組織の見直しで 地域活動の活性化を

青少年健全育成センター所長

南 雲 悦 子

五月に開催された新発田青少年育成市民会議総会には、約二百八十名の多数の皆様にご参加いただき大変ありがとうございました。また、日ごろ青少年の健全育成にご尽力いただいておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、市民会議では今年度も「地域組織の育成と強化」を重点目標として取り組んでおります。平成十二年度の役員改選に伴い、地域活動を活性化するために運営委員の中に十四育成協議会の代表の方にも半数入っていたたき地域とのパイプをさらに太くいたしました。このことにより地域対策委員との連絡、連携を図り、活動しやすい組織づくりを目指します。運営委員の数も四十名以内から三十名以内に見直しをさせていただきました。また、地区委員につきましてもすでに皆様ご承知のとおり、六月に町内会・自治会連合会が結成され、連絡区長制度がなくなつたことから見直しをさせていただきました。これまでお世話いただきました地区委員の皆様、大変ありがとうございました。

「地域活動の活性化」は今後の青少年育成のテーマであり、二千二年からの学校週五日制完全実施に向けて、また、今問題となつていゝるさまざまな青少年問題解決の大きなキーポイントになつていくことでしょう。各少年

団体・市内十四育成協議会の指導員等の方々の世代を越え

た「ななか意識」がそつくり

そのまゝ子どもたちのお手本であると確信して止みません。



市民会議には14の地区青少年育成組織があります。各地域の対策委員の方々を中心に活動しています。

平成12～13年度 新発田青少年育成市民会議地域対策委員紹介

No.	地 域 組 織 名	氏 名
1	外ヶ輪小学校区青少年育成連絡会	坂井 正
2	御免町・一中校区健全育成会議	浮島 一雄
3	猿橋小学校区青少年健全育成協議会	本間 博利
4	二葉地区青少年育成協議会	前田二三夫
5	住吉小学校区青少年育成協議会	楨坂 宣弘
6	松浦地区青少年健全育成協議会	近藤 健一
7	佐々木地区青少年健全育成会議	宮下 俊夫

No.	地 域 組 織 名	氏 名
8	川東地区青少年育成協議会	本間 喜一
9	五十公野地区健全育成協議会	斎藤 修三
10	米倉小学校区青少年健全育成協議会	長谷川 明
11	菅谷地区青少年健全育成協議会	馬場 泰市
12	赤谷地区青少年育成協議会	石井 淳
13	加治地区青少年健全育成協議会	鍋谷 俊衛
14	東豊小学校区青少年育成協議会	青山 武夫

運営委員会は市民会議の審議機関です。運営委員はいろいろな分野の代表者で組織されています。

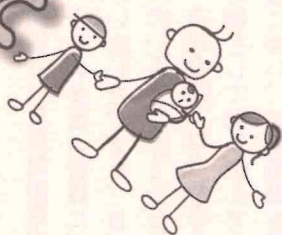
平成12～13年度 新発田青少年育成市民会議運営委員紹介

No.	氏 名	選 出 母 体
1	横 井 宏 次	自治会長
2	相 馬 駿	自治会副会長
3	六 井 郁 雄	自治会長
4	大 竹 紀 明	商店街連合会
5	田 中 久美子	民生委員・児童委員連合会
6	中 山 道 子	少年補導委員会
7	真 島 志 郎	新発田地区防犯連合会
8	湯 浅 喜 六	交通安全協会
9	小山 志賀之助	健民少年団
10	永 松 丸 子	子ども会連合会
11	石 井 淳	赤谷地区緑の少年団
12	大 森 睦 夫	スポーツ少年団
13	高 橋 剛	ボーイスカウト新発田第1団

No.	氏 名	選 出 母 体
14	島 津 延 明	市PTA連合会
15	山 田 浩 演	小学校長会
16	駒 澤 一 彦	中学校長会
17	渋 谷 武 雄	学識経験者
18	中 村 五 郎	学識経験者
19	坂 井 正	外ヶ輪育成協
20	浮 島 一 雄	御免町育成協
21	楨 坂 宣 弘	住吉育成協
22	斎 藤 修 三	五十公野育成協
23	本 間 喜 一	川東育成協
24	宮 下 俊 夫	佐々木育成協
25	鍋 谷 俊 衛	加治育成協

ぐる取り組み 全実施に向けて

けて学校の
はじまっています。
合わせた体制づくりが
くつかの取り組みを
します。



子どもたちの遊び(余暇生活)の 実態と今後の課題

新発田市総合健康福祉対策協議会健全育成部会

当部会では、市内小・中学校

(計四ヶ校)のご協力を得て、「子どもたちの遊び(余暇生活)」の実態と、意識に関する調査」を実施し、その結果を、時代の動向や背景から考察を加え、平成十四年発足の「学校週五日制」対応を視点とする課題をまとめました。(平成12年3月)

1.遊び(余暇生活)の状況

(1)傾向

- 室内型、孤立型……小・中学生とも、テレビ・ビデオ・CD視聴が多く(八〇%)、次いで雑誌・マンガ本(七五%)で、ほかに、男子はコンピュータゲーム、女子は友人のおしゃべりが多い。
- 小さい遊び集団……遊び仲間のサイズが小さく、小・中学生とも二〜三人遊びが約四八%を占め、異年代、異学年との遊びは極めて少ない。

- 室内遊びの希望が多い……自然相手の遊びは関心が薄く、雨天時にスポーツやコンピュータで遊べる施設への希望が多い。

(2)課題

- さまざまな外界刺激を体験させ、現実場面に対応できる力を育てる。

2.地域活動への参加状況

(1)傾向

- 参加経験……小学生は九四%と多いが、中学生は、七〇%と少ない。
- 参加意識……「楽しいから」は小学生五六%であるが、中学生は、「しかたなく」が二七%もある。

(2)課題

- 地域活動への参加を促し地域共同体への意識を深める。
- 中・高校生の企画運営による活動を進め、地域貢献の誇りや喜びを育てる。
- 地域に住む大人たちの知恵や技能を活かして、子どもたちの関心や特性に基づく体験活動を進める。

3.生活での「楽しみ」の状況

(1)傾向

- 「友人のおしゃべり」とき」が最も多く、小学生六二%、中学生六九%である。
- 「趣味、特技のとき」は小学生三八%、中学生四二%と次に多い。
- 「家族団らん、共同作業」は、小学生二六%、中学生が六%と低い。

(2)課題

- 「趣味、特技」分野への関心が高く、余暇活動としての組織化が大切である。
- 家庭生活での「はりあ感」のため、両親が多忙であっても、工夫して家族団らんの機会を設ける。

4.余暇施設利用の状況

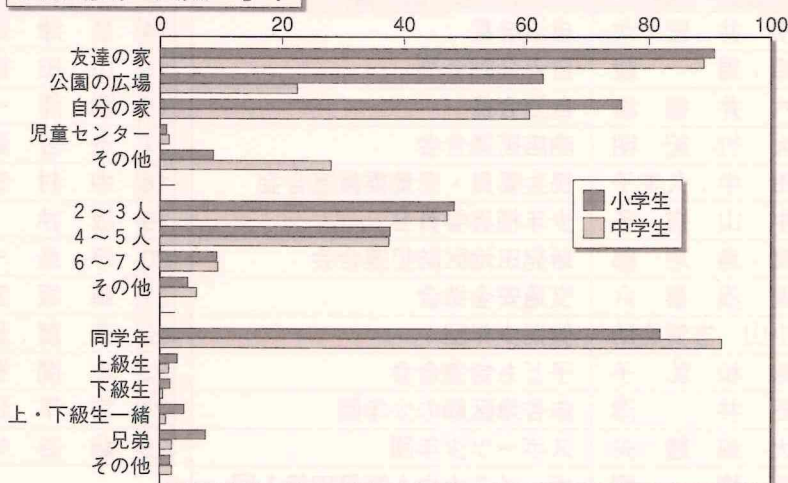
(1)傾向

- 公園、競技、文化の諸施設、機能は周知されているが、利用度が少ない。

(2)課題

- 子ども向けの事業やサービスを拡充するとともに、施設情報の提供を進める。
- 日常生活の快適化、興味関心の多様化、技術の高度化に伴う、多様なニーズへの対応を工夫する。

遊ぶ場所・人数・学年

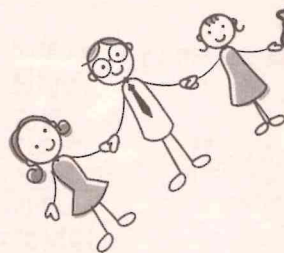


5.ボランティア活動の志向状況

(1)傾向(中学生のみ)

- 参加経験……男子四九%、女子六〇%とかなり高い。
- 経験分野……「高齢者や障害者の世話」が三〇%代。
- ボランティア活動の実践化のための機能整備を図る。

(文責 榎坂宣弘)



挨拶は地域をなごませる

一挨拶運動で地域の
コミュニケーションを図った佐々木地区一

一 青少年健全育成の 基本

青少年健全育成の基本は親同士が仲良くなること、お互い気持ちの良い挨拶をしあうことからだと思っています。

二 挨拶は人の心をなごませる

先日秋田の竿灯祭りに行ってきました。竿灯を見た翌朝、一人でお城公園へ行ってみました。公園の石段の所に、茶髪・顔黒の男女が十人ほど徹夜したのでしょうか火を焚いているのです。私が「おはようございます」と言つて通ると「おはようございます」と挨拶が返つてくるのです。挨拶は人の心をなごませてくれるのだなあとつくづく感じました。

三 子供とコミュニケーション

私たちの集落ではこんなことをしました。

Ⅱ 古太田川美化活動Ⅱ

若い人から「川をきれいにしたら、川をもっと大事にするようになるのではないか」という意見が出ました。早速役員会で実施することにしました。

参加者 大人は一戸一名以上 小
中高校生は全員

この活動で川がきれいになったこ

と、併せて子供たちとのコミュニケーションが良くなり子供の挨拶も良くなりました。

四 大人が子供に挨拶を

佐々木地区では毎月発行しているコミュニケーションだよりに「あいさつのまち・佐々木地区」と書いていますし、学校でも良く指導してくれますので子供たちの挨拶が大変良いのです。最近、保育園の子供の挨拶も良くなっています。このように子供の挨拶が良いのに、大人が良い挨拶を返さなければ挨拶をしなくなります。私たちの集落では「大人から、子供に挨拶をしましょう」というチラシを配らせていただきました。その効果が今出てきているように思います。

(文責 宮下 俊夫)



演劇にかける若者たち

一劇団時計塔の取り組みから一

青春の心を演劇で表現したいと取り組んでいる若者たちがいます。

市の青少年育成市民会議の総会で「センチメンタル・アマレット・ポジティブ」という劇を演じて大きな拍手を受けました。

思い

劇団 時計塔

長谷川 裕香

私たちはより多くの人に、「芝居という生きている空間を知って欲しい。」そんな思いで劇団をつくりました。個人的思いとしては、大人にもなれず、かと言って子供のままではない、微妙なところで揺れている私たちが、今思っていること、感じていることを伝えることが出たら。世間体など無い、正直な気持ちを伝えて欲しいと考えています。

時計塔は、全員が学生ということで、行事の少ない冬場を主として活動しています。

練習は、とてもにぎやかに行われています。言い合いをしたり、

ふざけあったり、そんな空間が私はとても好きです。練習の合間をぬって、小学生たちとはしゃぎまわり、練習を観てくれた小学生にダメダシをされ、とても楽しんで練習しています。

今は、高校の部活の大会が近いので活動していませんが、今年の冬にでも「また、一発やろうか」という話もできています。

今、私たちが伝えたいこと。今でなくては伝えられないこと。こんなことを考えながら芝居をしています。私が今、言いたいことはたくさんあるけれど一つだけ書かせていただきます。

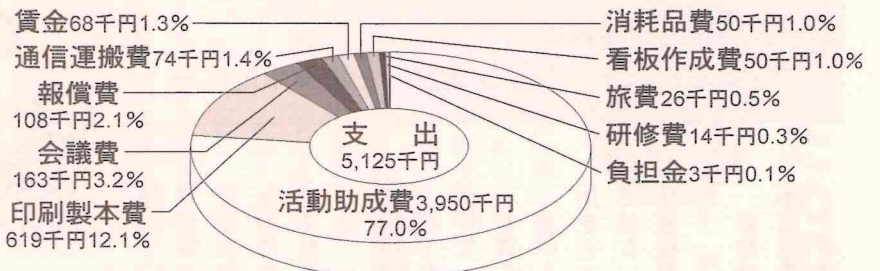
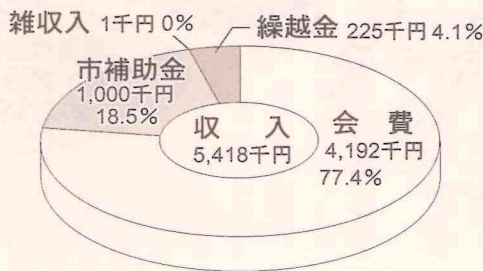
あきらめることより、乗り越えるつらさを知りたい。
今、心から思う。



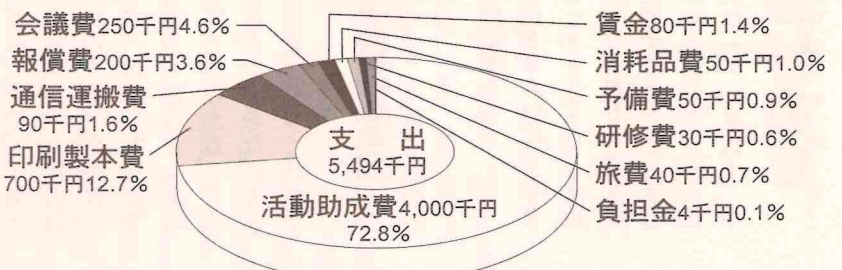
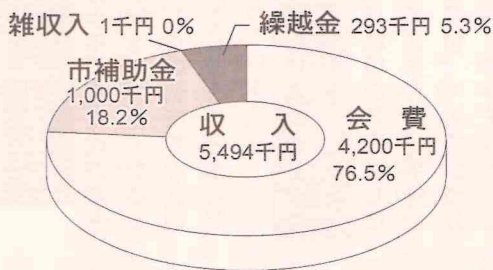
12年度総会を終えて

各世帯より会費をいただきました。ご協力ありがとうございました。

11年度決算報告



12年度予算額



活動助成費の400万円は下記の組織団体に助成されます。

14地区青少年育成組織

組織名	助成金額(円)
外ヶ輪小学校区青少年育成連絡会	358,000
御免町・一中校区健全育成会議	310,000
猿橋小学校区青少年健全育成協議会	360,000
二葉地区青少年育成協議会	234,000 ※50,000
住吉小学校区青少年育成協議会	260,000
松浦地区青少年健全育成協議会	116,000
佐々木地区青少年健全育成会議	141,000

組織名	助成金額(円)
川東地区青少年育成協議会	172,000
五十公野地区健全育成協議会	195,000 ※50,000
米倉小学校区青少年健全育成協議会	97,000
菅谷地区青少年健全育成協議会	122,000
赤谷地区青少年育成協議会	76,000 ※50,000
加治地区青少年健全育成協議会	163,000
東豊小学校区青少年育成協議会	307,000 ※50,000

青少年育成団体

団体名	助成金額(円)
市子ども会連合会	500,000
市健民少年団	104,000
市スポーツ少年団	100,000
ボーイスカウト	41,000
赤谷地区緑の少年団	34,000
車野地区緑の少年団	40,000
市少年団体連絡協議会	20,000
市少年補導委員会	50,000

特別活動助成金

組織名	助成金額(円)
二葉地区青少年育成協議会	50,000
五十公野地区健全育成協議会	50,000
赤谷地区青少年育成協議会	50,000
東豊小学校区青少年育成協議会	50,000

今年度は左記の4地区青少年組織が対象となります。
次年度は他の4地区が対象になる予定です。



文責 山野辺

今年の夏は雨ごいをしたくなるような真夏日が続きました。でも、揺れる黄金の穂で遊ぶ赤トンボが、秋を運んできてくれました。

さて、秋は最も活動しやすく、行事の多い季節でもあります。子供たちには自主的にいきいきと取り組んで欲しいものです。そのためには私たち大人がどうかかわれば良いのでしょうか。今、学校週五日制完全実施に向けていろいろな動きが見られます。今こそ、より良い地域、学校、家庭のかかわりを、子供を中心に改めて考える時かも知れません。皆様の御理解、そして実行力を信じたいと思います。

おわりに